**僕の絵・自分の世界３９**

**シティ―ギャラリーに「ふきの絵」を見に行った**

**芸術がなにか、絵はなにか　色は何か**

**自信が飛んで行ってしまった　　でも**

**自分の世界だけが残った**

**みちお・画**

**美しい色は覚えた　自分の世界に　沈めた**

**山の色　海の色　河の色　秋の色　沈めた**

**みちお・画**

**窓を開けて　空を見れば雲が波のように流れていた**

**みちお・画**

**時が過ぎて　覚悟が出来たのか　あきらめたのか　いや**

**自分の世界もブラフに頼る**

**これでいいではないか　　静かに祈る　　イエスが見える**

**みちお・画**

**見よ　色が明るくなってくる　熱くなってくる　しばらくの閑**

**みちお・画**

**自分の世界には人と神と仏か　同居している**

**みちお・画**

**そう　あっという間に十一月**

**詩を借りて自分の世界を確認する**

**見えてしまうものに 目をつぶる**

**聴こえてくるものに 耳をふさぐ**

**臭ってくるものに 鼻を つまむ**

**叫びたいときに 口をつぐむ**

**心はときに 五感を裏切り**

**六感を信じない 心はときに**

**自らを偽っていることに 気づかない 　　　　詩　谷川俊太郎**

**みちお・画**

**「風伝おろし」をウェザーニュースで知った**

**山の美しさ　霧の不思議さ**

**自分の世界は自由、山にかかる白いヴェールのよう**

**みちお・画**

**自分の世界を創造して　ほかの世界に存在する自分を知る。**

**怖い時がある**

**死がわかる時が来るのだろうか　　　　ない**

**みちお・画**

**昔　描いた自分の世界を勉強机の引き出しから引っ張り出して**

**自分の世界の複雑さを少年のころにも知っていたのか**

**死は考えたこともない**

**死を飛び越えている**

**コメントは宇宙へ**

**「旅にたい」かったという**

**みちお・画**

**あっという間に十一月も下旬に入れば新月🌑**

**幸運日　心が楽になるという**

**自分の世界に「月の暦」を入れて祈る**

**みちお・画**

**同じ色　同じ世界**

**みちお・画**

**たしかに心が楽になる**

**同じ色　違う世界**

**みちお・画**

**自分の世界を小池さんから詠む**

**意見が合わないからその人は嫌いじゃなくて**

**あの人が好きだから違う意見も**

**受け入れてみるってなればいい。**

**みちお・画**

**意見が違うものは敵**

**意見が合うものだけが　自分の味方**

**では「自分の世界」は狭まるばかり。　　　　小池一夫　１４１**

**みちお・画**

**十一月も終わろうとしている**

**半月が　上弦の月が寂しい**

**寂しさが自分の世界を冷静にさせている**

**やっと落ち着いた**

**自分の世界が落ち着いた**

**色で分かる**

**誰でもところどころ影を背負って生きている**

**みちお・画**

**昔を呼び戻してみた**

**僕の一番気に入った自分の世界　飾ってある**

**七十歳の夏の自分の世界だ**

**みちお・画**

**平成二十九年十一月詩日**

**みちお（七十四歳）**